



平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年8月6日

上場取引所 東 福

上場会社名 リックス株式会社
 コード番号 7525 URL <http://www.rix.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成27年8月12日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 松浦 賢治
 (氏名) 荻田 透

TEL 092-472-7311

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	7,762	6.6	374	72.5	444	64.7	258	107.8
27年3月期第1四半期	7,280	12.1	217	△7.4	269	△2.6	124	△13.7

(注)包括利益 28年3月期第1四半期 401百万円 (91.2%) 27年3月期第1四半期 210百万円 (△37.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	30.67	—
27年3月期第1四半期	14.76	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第1四半期	22,910	11,845	49.2
27年3月期	22,582	11,418	48.1

(参考)自己資本 28年3月期第1四半期 11,267百万円 27年3月期 10,869百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	11.00	—	19.00	30.00
28年3月期	—				
28年3月期(予想)		15.00	—	15.00	30.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	17,000	10.7	720	15.9	795	12.2	460	19.6	54.56
通期	34,100	8.2	1,490	8.3	1,640	5.0	950	21.9	112.68

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

詳細につきましては、添付資料4ページ「(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

詳細につきましては、添付資料4ページ「(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期1Q	8,640,000 株	27年3月期	8,640,000 株
28年3月期1Q	208,770 株	27年3月期	208,770 株
28年3月期1Q	8,431,230 株	27年3月期1Q	8,431,272 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間において、世界経済は米国主導で緩やかに回復しました。しかしながら欧州ではギリシャの債務危機が再燃し、中国では固定資産投資が鈍化するといった不安材料が見受けられ、先行きは見通しにくくなっています。

一方、日本経済には持ち直しの動きが見られました。輸出の低迷が懸念されたものの、機械受注は増加し設備投資に底堅さがうかがえました。

このような経済環境のもと、当社グループでは新中期3ヵ年計画「戦略ビジョン2017」を策定し、経営課題の解決と経営目標の達成に向けて新たなスタートを切りました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の連結業績は、売上高77億62百万円（前年同期比6.6%増）、営業利益3億74百万円（同72.5%増）、経常利益4億44百万円（同64.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益2億58百万円（同107.8%増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

(鉄鋼業界)

同業界では、自動車や建築、土木向けの鋼材出荷がいずれも振るわず、国内鉄鋼大手が在庫調整を行った結果、国内粗鋼生産量は前年同期を下回りました。

また、欧州を除く主要生産国・地域においても減産傾向が続き、世界全体の粗鋼生産量も前年同期を下回る推移となりました。

当社グループにおきましては、生産比例品の販売が粗鋼の減産による影響を免れない状況下にあつて、生産性・品質向上を目的とした設備投資需要は根強くあることからその受注確保に努め、搬送装置やその部品、潤滑油の混合装置等の販売が増加しました。

この結果、鉄鋼業界向け全体としての売上高は25億35百万円（前年同期比5.6%増）となりました。

(自動車業界)

同業界では、北米を中心に海外生産は伸びたものの、国内市場と輸出の低迷により国内自動車大手の世界生産は前年同期をやや下回りました。

一方、工作機械受注は海外向けで落ち込みが見られたものの国内向けが好調で、全体としては前年同期を上回りました。

当社グループにおきましては、工作機械向け回転継手や浮上油回収機の販売が堅調に推移したほか、集中クレーン装置など設備増強の受注を獲得したことで売上が伸長しました。

この結果、自動車業界向け全体としての売上高は15億72百万円（前年同期比5.0%増）となりました。

(電子・半導体業界)

同業界では、北米と中国で市場拡大が続き、世界半導体売上高は前年同期を上回りました。

一方、国内の半導体製造装置受注には減速感がうかがわれ、販売額も前年同期を下回りました。

当社グループにおきましては、フィルターやシール製品の販売が伸長し、半導体製造装置関連機器の修理再生案件も増加しましたが、前年同期にバリ取り装置やトリミング装置移設工事の大口受注があった分のマイナスを補うことができませんでした。

この結果、電子・半導体業界向け全体としての売上高は7億46百万円（前年同期比9.9%減）となりました。

(ゴム・タイヤ業界)

同業界では、低迷する国内自動車生産の影響で国内タイヤ生産も前年同期を下回りましたが、国内タイヤ大手が海外のタイヤ生産設備を増強する動きは継続しています。

当社グループにおきましては、大手タイヤメーカーの海外向け生産設備投資を確実にフォローし、バルブの販売が堅調に推移したほかポンプ類の販売も伸びました。

この結果、ゴム・タイヤ業界向け全体としての売上高は9億69百万円（前年同期比40.4%増）となりました。

(高機能材業界)

同業界では、国内総合化学大手は高機能化学品の海外生産を強化し、国内繊維大手は高機能繊維・複合材料の海外生産を増強する動きが見られました。

当社グループにおきましては、ラインミキサーやコンプレッサーの販売が伸び、化学工場向け防錆剤も売上増に貢献しました。

この結果、高機能材業界向け全体としての売上高は2億84百万円（前年同期比7.1%増）となりました。

(環境業界)

同業界では、環境装置受注は官公需の落ち込みが大きく前年同期を下回りましたが、民需は底堅く、廃棄物処理装置や排水処理装置は増加しました。

当社グループにおきましては、焼却設備向け開口閉口装置や排水処理施設向けブロワーの販売が伸長しました。

この結果、環境業界向け全体としての売上高は3億40百万円（前年同期比15.9%増）となりました。

(紙パルプ業界)

同業界では、紙の国内出荷は減少したものの、段ボール原紙がやや増加し板紙の国内出荷は前年同期を上回りました。

当社グループにおきましては、高圧ポンプの販売が好調だったほか、バイオマス発電向けサイレンサーの大口受注があり売上増に寄与しました。

この結果、紙パルプ業界向け全体としての売上高は1億81百万円（前年同期比14.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資 産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて2.0%増加し161億56百万円となりました。これは主に現金及び預金が1億46百万円、有価証券が1億円、たな卸資産が3億64百万円それぞれ増加し、一方で売上債権が2億98百万円減少したことなどによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて0.1%増加し67億53百万円となりました。

これらの結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて1.5%増加し、229億10百万円となりました。

(負 債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて1.8%減少し98億38百万円となりました。これは主に短期借入金が2億85百万円、賞与引当金が2億9百万円増加し、一方で仕入債務が87百万円、未払法人税等が1億28百万円、その他が4億73百万円それぞれ減少したことなどによるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて6.8%増加し12億26百万円となりました。

これらの結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて0.9%減少し、110億65百万円となりました。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べて3.7%増加し118億45百万円となりました。これは主に利益剰余金が2億90百万円、その他有価証券評価差額金が1億7百万円それぞれ増加したことなどによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点では、平成27年5月13日に公表しました業績予想に変更はありませんが、変更が必要になった場合は速やかに公表します。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

前連結会計年度まで非連結子会社であった「リックステクノ株式会社」を、重要性が増したため連結の範囲に含めております。なお、同社は特定子会社には該当しておりません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を、当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,689,310	2,835,879
受取手形	1,127,495	1,168,161
電子記録債権	816,097	858,732
売掛金	9,766,312	9,384,079
有価証券	-	100,000
商品及び製品	838,122	1,044,854
仕掛品	146,506	303,304
原材料及び貯蔵品	64,422	65,588
その他	385,345	396,420
貸倒引当金	△415	△401
流動資産合計	15,833,197	16,156,621
固定資産		
有形固定資産	1,984,852	1,979,503
無形固定資産	75,990	71,040
投資その他の資産		
投資有価証券	3,820,644	3,813,202
その他	883,659	900,690
貸倒引当金	△15,800	△10,598
投資その他の資産合計	4,688,503	4,703,294
固定資産合計	6,749,346	6,753,837
資産合計	22,582,543	22,910,459
負債の部		
流動負債		
支払手形	1,800,947	1,904,326
電子記録債務	2,084,450	2,178,421
買掛金	3,234,817	2,950,442
短期借入金	1,649,545	1,935,513
未払法人税等	295,726	166,858
賞与引当金	-	209,257
役員賞与引当金	-	16,787
その他	949,854	476,740
流動負債合計	10,015,341	9,838,347
固定負債		
役員退職慰労引当金	132,960	141,645
退職給付に係る負債	518,898	528,165
その他	496,742	556,915
固定負債合計	1,148,602	1,226,726
負債合計	11,163,943	11,065,074

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	827,900	827,900
資本剰余金	683,986	683,986
利益剰余金	8,430,273	8,720,489
自己株式	△122,590	△122,590
株主資本合計	9,819,568	10,109,784
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	912,324	1,019,390
為替換算調整勘定	91,525	92,592
退職給付に係る調整累計額	46,560	45,457
その他の包括利益累計額合計	1,050,410	1,157,441
非支配株主持分	548,622	578,158
純資産合計	11,418,600	11,845,384
負債純資産合計	22,582,543	22,910,459

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	7,280,777	7,762,385
売上原価	5,842,814	6,114,834
売上総利益	1,437,962	1,647,551
販売費及び一般管理費	1,220,840	1,272,998
営業利益	217,121	374,553
営業外収益		
受取利息	3,185	3,717
受取配当金	14,375	18,507
持分法による投資利益	14,066	20,517
不動産賃貸料	4,044	4,130
為替差益	8,139	12,572
その他	12,733	12,340
営業外収益合計	56,544	71,786
営業外費用		
支払利息	1,951	1,656
その他	1,990	563
営業外費用合計	3,941	2,220
経常利益	269,724	444,119
特別利益		
固定資産売却益	-	552
特別利益合計	-	552
特別損失		
固定資産売却損	20	29
固定資産除却損	37	61
減損損失	101	204
投資有価証券評価損	1,000	-
会員権評価損	4,330	-
特別損失合計	5,489	295
税金等調整前四半期純利益	264,235	444,376
法人税等	126,201	166,631
四半期純利益	138,034	277,744
非支配株主に帰属する四半期純利益	13,567	19,121
親会社株主に帰属する四半期純利益	124,467	258,623

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
四半期純利益	138,034	277,744
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	93,221	123,913
為替換算調整勘定	△20,739	1,067
退職給付に係る調整額	44	△1,103
持分法適用会社に対する持分相当額	△305	368
その他の包括利益合計	72,220	124,245
四半期包括利益	210,254	401,990
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	185,229	365,654
非支配株主に係る四半期包括利益	25,025	36,336

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)

1 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント							
	鉄鋼	自動車	電子・半導体	ゴム・タイヤ	高機能材	環境	紙パルプ	計
売上高								
外部顧客への売上高	2,401,595	1,498,537	828,242	690,833	265,921	293,417	159,422	6,137,970
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	2,401,595	1,498,537	828,242	690,833	265,921	293,417	159,422	6,137,970
セグメント利益	197,639	77,696	29,791	15,034	20,078	20,142	10,492	370,874

	その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
売上高				
外部顧客への売上高	1,142,806	7,280,777	—	7,280,777
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	1,142,806	7,280,777	—	7,280,777
セグメント利益	82,838	453,712	△236,590	217,121

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、食品業界及び造船業界等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額 △236,590千円には、内部利益 133,052千円、連結消去 58,847千円、報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費 △428,491千円が含まれております。

3 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント							
	鉄鋼	自動車	電子・ 半導体	ゴム・ タイヤ	高機能材	環境	紙パルプ	計
売上高								
外部顧客への売上高	2,535,664	1,572,886	746,453	969,929	284,780	340,201	181,962	6,631,878
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	2,535,664	1,572,886	746,453	969,929	284,780	340,201	181,962	6,631,878
セグメント利益	212,106	64,100	37,049	87,898	22,731	20,714	6,742	451,342

	その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
売上高				
外部顧客への売上高	1,130,506	7,762,385	—	7,762,385
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—
計	1,130,506	7,762,385	—	7,762,385
セグメント利益	90,607	541,950	△167,397	374,553

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、食品業界及び造船業界等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額 △167,397千円には、内部利益 180,620千円、連結消去 78,490千円、報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費 △426,508千円が含まれております。

3 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません